



負担激増で生活できぬ

難病患者家族が 8万5千筆の署名提出

「命や生活を支える医薬品、ずっと使っている薬が、保険適用から外されるかもしれない」。自民・公明・維新の会が6月11日に合意したOTC類似薬の保険適用除外が政府の「骨太方針2025」に盛り込まれた。OTC類似薬を使用する患者・家族から負担金額が増えることで「治療が続けられなくなるのでは」という不安や懸念も広がっている。



厚労省担当者に請願書を手渡す大藤氏(中央)ら

国の指定難病である魚鱗癬を患う大藤龍之助さんの母・朋子さんが6月18日、厚労省にオンライン署名約8万5千筆と請願書を提出し、治療を必要とする全ての人が使用できる薬(OTC類似薬)を、今後も保険適用とすることを求めた。署名には難病患者だけでなく、アレルギー疾患、がん患者からも賛同とメッセージが寄せられた。保団連は同署名と請願書に賛同するとともに、厚労省への署名提出に同席した。

大藤さんは、「息子は生まれつきの魚鱗癬で、22年間、四六時中のかゆみや痛みに耐えてきた。体温調整ができないことで、友達との行動が制限されることもあった。それでも2年前に今の会社の社長が息子を受け入れてくれたおかげで、病気があっても働くことができている。しかし、このOTC類似薬の保険外化で、息子の将来に不安しか見えなくなった。息子はこれまで病気を抱えていることに文句は言わなかったが、OTC類似薬が保険から外されたら、自分の病気を恨むようになると思う」と話し、OTC類似薬の保険適用の存続を訴えた。

歯科医療改善に向けて尽力を 立憲民主党と懇談



左から小西、野田、長浜、宇佐美、石毛、石垣、石川各氏

参院選が間近に迫る6月20日、保団連も加盟する「保険でよい歯科医療を」全国連絡会は、立憲民主党の小西洋之、長浜博行、石垣のりこ、石川大我、野田国義各参院議員と懇談した。懇談で全国連絡会の宇佐美宏副会長(保団連歯科代表)は、全国連絡会が依頼した歯科医療政策に関する政党アンケートへの協力に謝意を述べた。懇談には、千葉連絡会の石毛清雄氏(千葉協会の理事)が出席した。

技工士の現状、依然厳しく

めぐる厳しい現状を報告。なかでも歯科技工士のおかれる厳しい現状を改めて訴え、保団連の歯科技工所アンケート結果が取材等を通じて社会に広がりつつあることに触れ、懇談等を通じた現場の声をふまえて歯科医療制度の改善に向けて尽力してほしいと訴えた。出席した議員は歯科医療の重要性と改善の必要性に理解を示した。

難病医療助成からも外される 厚労省の大坪寛子健康・生活衛生局長は6月18



アンケートに寄せられた声など 保団連HP

夏季特集号投稿募集

【応募要項】
・テーマは自由。エッセイ、俳句、川柳、詩、写真などを歓迎します
・投稿は1点のみ(写真と原稿を組み合わせたものはご遠慮ください)
・原稿字数は600字、写真は4切りサイズまで
・締め切り：7月7日(月) 必着
【応募先】
・住所、氏名、年齢、メールアドレス、ファクス番号(著者校正用)、電話番号をお書き添えの上、下記の宛先までお送りください
Eメール：shinbun-toko@doc-net.or.jp
ファクス：03-3375-1885
郵送：〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-5-5
※原稿・写真の返却はいたしません

全国保険医新聞

7月5日

2025年

発行所/発行人
全国保険医団体連合会
〒151-0053
東京都渋谷区
代々木 2-5-5
新宿農協会館内
☎ 03-3375-5121
FAX 03-3375-1885
会長 竹田 智雄
振替口座 00160-0-140346
購読料 年1ヵ月750円
(会員の購読料は、会費に含まれています)

主な記事

参院選アンケート 3

各党はどう答えたか

参院選挙が7月20日に迫る中、保団連は医療政策アンケートで各党の考えを聞いた

- 医療改善 維新の強い意向
参院選で情勢変化も
- 高額療養費改善
参院選が岐路
- 「消費税」が参院選の争点に
消費税解説③
- 「読み取り機設置義務付けない」
スマホ搭載マイナ
- 勤務医の働き方と地域医療への影響
勤務医交流会
- 伊原第三外科壕のひめゆり
シマチャビ②
- 「感情」はどこにあるのか
物語ガイド④

フォローして最新情報をキャッチ



https://hodanren.doc-net.or.jp/

羅針盤

今年もいよいよ参院選挙の月になった。国民の審判は果たしていかにというところだ。野